

## 子育て

### 医療機関の充実が7割

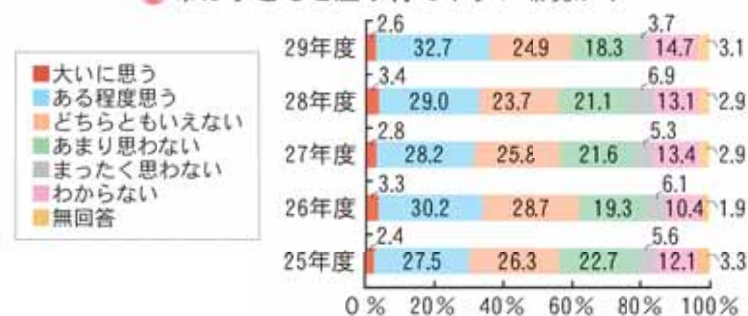
「子どもを産み育てやすい環境だと思う」「大いに思う」と「ある程度思う」の合計が35.3%となっています。

子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきこととして、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」がもっとも高く、「子育てに関する経済的支援の充実」「親子で遊べる施設や公園の整備」と続いています。

### 子どもを産み育てやすい環境にするため市がすべきことは？

- ①小児科や産婦人科などの医療機関の充実 (70.9%)、②子育てに関する経済的支援の充実 (41.9%)、③親子で遊べる施設や公園の整備 (31.6%)、④地震・津波など災害対策 (23.3%)、⑤一時的に子どもを預かる施設 (21.5%)、⑥教育・文化水準の向上 (20.5%)、⑦地域で子どもを育てる意識の向上 (15.3%)、⑧悩みごとを話せる相談窓口の充実 (14.7%)、⑨子育てについての積極的な情報提供 (9.1%)、⑩無回答 (4.5%)、⑪その他 (2.4%)

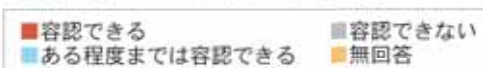
### 市は子どもを産み育てやすい環境か？



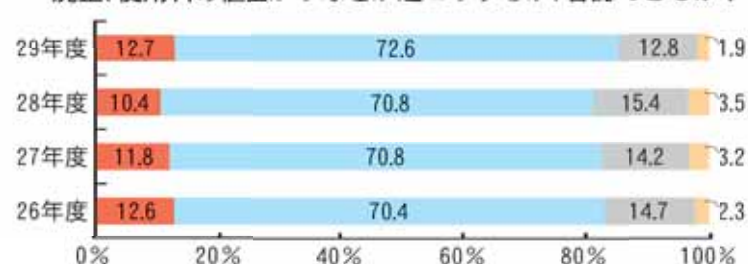
## 公共施設

### 8割が対応を容認

公共施設の更新（老朽化）問題への対応を進めることについて「ある程度まで容認できる」が72.6%と最も高くなっています。容認度（「容認できる」と「ある程度容認できる」の合計）は85.3%となっています。



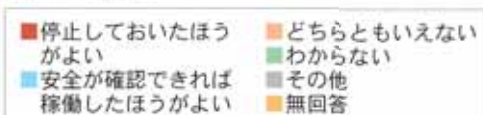
### 公共施設の更新問題への対応を進めると、公共施設の統合・廃止、使用料の値上がりなどが起こりうるが、容認できるか？



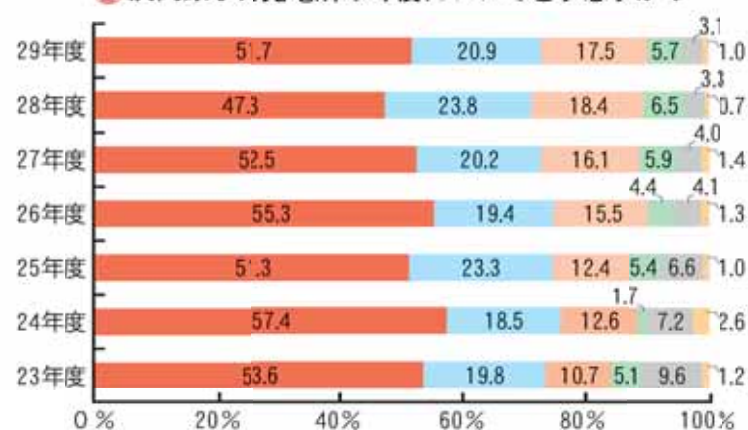
## 原発

### 浜岡原発停止に過半数

浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が51.7%で過半数を占め、昨年度よりやや高い割合となっています。次いで「安全が確認できれば稼働したほうがよい」が20.9%となっています。「その他」の中には廃炉などの意見が、1.7%含まれています。



### 浜岡原子力発電所の今後についてどう思うか？



### 市の行政サービス「市の取り組みに対する満足度・重要度について」

市の取り組みについて満足しているか、また、その取り組みが重要であると考えているかとの57項目の設問に対して、満足度が最も高かった取り組みは「こども医療費制度」で、次に「幼稚園や保育園、認定こども園などの充実」「生活環境対策などへの取り組み」と続いています。

重要度が最も高かった取り組みは「こども医療費制度」と「震災や火災、水害、浸水対策への取り組み」で、次に「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」と続いています。重要度の高さは、市民の関心の高さを示しています。



# 「住み続けたい」が6ポイント上昇

### ～調査の概要～

調査対象：市内在住(市内に住民票のある人)の16歳以上の男女  
 調査方法：無作為抽出による郵送配布・回収  
 調査期間：平成29年4月28日～5月12日  
 発送数：1,397通  
 有効回収数：804通 有効回収率：57.6%  
 \*端数処理の都合上、また、複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

市では、市のさまざまな取り組みに対する市民の意識を把握し、事業の達成度を確認するとともに、今後の市政へ反映させることを目的として「市民意識調査」を平成19年度から実施しています。今年度の第10回目の調査結果がまとまりましたので、一部を掲載します。詳細は、市ホームページに掲載し、榛原・相良庁舎の情報公開コーナーに配架しています。

HP <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/shisei/ent/935.html>  
 問い合わせ 企画政策課 大倉 ☎0040

## 居住

### 住み続けたい人が7割

今、住んでいる場所に「住み続けたい」が65.0%と最も高く、昨年度よりやや高い割合となっています。一方で「市外へ移りたい」の割合は昨年度よりやや低くなっています。他の場所に移りたい理由では地震や津波などの被災のおそれがあるから」が最も高い結果となりました。



### 今後も住み続けたいか？



## くらし

### 7割が幸せを感じる

「幸せだと思う」「大いに思う」と「ある程度思う」の合計が68.8%となっています。幸せだと思う理由として、「健康であるから」が最も多く、「家族や友人との関係が良好だから」「住まいがあるから」と続いています。



### 今現在、幸せだと思うか？

